

プログラム [講演]

特別講演

病原菌の薬剤耐性と生命の進化

1月21日（土）14:00～15:00

第1会場（メインホール）

演者：橋本 一（元群馬大学医学部教授／細菌学会名誉会員）

座長：荒川 宜親（名古屋大学大学院医学系研究科 分子病原細菌学／耐性菌制御学）

総会長講演

微生物検査における生態学（エコロジー）—病原体を正しく恐れること

1月22日（日）8:40～9:30

第1会場（メインホール）

演者：稲松 孝思（東京都健康長寿医療センター 臨床検査科）

座長：砂川 慶介（北里大学 北里生命科学研究所 特別研究部門）

教育講演1

臨床微生物学の教育とその方向性

1月21日（土）14:00～14:45

第2会場（301+302）

演者：熊坂 一成（AMG 上尾中央総合病院 臨床検査科／感染制御室）

座長：菅野 治重（医療法人社団徳風会 高根病院）

教育講演2

今日の予防接種

1月22日（日）13:00～13:45

第2会場（301+302）

演者：多屋 馨子（国立感染症研究所 感染症情報センター）

座長：岡部 信彦（国立感染症研究所 感染症情報センター）

緊急特別企画

地震・津波・原発災害：復興への道

1月21日（土）15:00～17:30

第1会場（メインホール）

座長：河野 茂（長崎大学病院病院長）

矢越美智子（日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部）

特別講演

放射線被ばくによる健康リスク管理の諸課題

山下 俊一（福島県立医科大学副学長）

シンポジウム

1. 東日本大震災を福島で経験して
金光 敬二 (福島県立医科大学 感染制御臨床検査医学)
2. 災害時の感染症対策と支援—東日本大震災を経験して—
長沢 光章 (東北大学病院 検査部)
3. 震災後肺炎症例の起炎菌および臨床像
高橋 洋 (宮城厚生協会 坂総合病院 呼吸器科)
4. 検査資材供給者の立場から 1
震災のインパクト：その時何が起こったのか
小林 郁夫 (日本ベクトン・ディッキンソン株式会社 ダイアグノス
ティックシステム事業部)
5. 検査資材供給者の立場から 2
～最短での生産復旧を目指して～
富井 敬士 (極東製薬工業株式会社 高萩工場)

シンポジウム1

常在菌を考える—臨床微生物学における永遠のテーマ—

1月21日 (土) 9:15~11:45

第1会場 (メインホール)

座長：松本 哲哉 (東京医科大学微生物学講座・病院感染制御部)

三澤 成毅 (順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床検査部)

基調講演1

歯周病原細菌代謝産物・酪酸の微生物間相互作用

—潜伏感染ウイルスの再活性化とガン進展に及ぼす影響—

演者：落合 邦康 (日本大学歯学部 細菌学教室)

基調講演2

腸内常在菌研究の今日

演者：松木 隆広 ((株)ヤクルト本社中央研究所基礎研究I部共生微生物研究室)

シンポジウム

常在菌と病原体はどこまで判別できるか？

1. グラム染色による判別
山本 剛 (西神戸医療センター 臨床検査技術部・感染防止対策室)
2. 培養結果による判別
田中美智男 (京都大学医学部附属病院 検査部)

シンポジウム2

国際委員会企画：CLSI-EUCAST最新情報

1月21日（土）10:00～12:00

第2会場（301+302）

座長：館田 一博（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

細川 直登（亀田総合病院 総合診療・感染症科）

1. Where is CLSI Heading?
Karen Bush (Biology Department, Indiana University)
2. 2011年6月 CLSI会議に参加して学んだこと
三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学）
3. わが国におけるブレイクポイントの今後の方向性を考える
松永 直久（帝京大学医学部附属病院感染制御部・帝京大学医学部内科学
講座（感染症））

シンポジウム3

Up date；次世代微生物検査～遺伝子検査，質量分析法はルーチン検査となるか～

1月21日（土）15:00～17:00

第3会場（503）

座長：大楠 清文（岐阜大学大学院 病原体制御学分野）

大塚 喜人（亀田総合病院 臨床検査部）

1. 管理者からみた微生物検査室の将来像
～微生物検査室にどこまで投資できるか～
佐野 和三（駿河台日本大学病院 臨床検査部）
2. 自動細菌同定感受性検査装置の問題点と今後の要望
川上小夜子（帝京大学医学部附属病院 感染制御部）
3. 簡易遺伝子検査LAMP法の臨床応用
—小児呼吸器疾患での使用経験—
舟橋 恵二（江南厚生病院 臨床検査技術科）
4. MALDI Biotyper を用いた同定成績と検査室における将来性
草場 耕二（佐賀大学医学部附属病院 検査部）

シンポジウム4

結核のすべて

1月22日（日）9:30～11:30

第1会場（メインホール）

座長：一山 智（京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学）

渡辺 靖（国立成育医療研究センター臨床検査部）

1. 非結核専門病院の医師からみた結核の検査診断
長谷川直樹（慶應義塾大学病院 感染制御センター）
2. 結核の治療向上のための検査診断
吉山 崇（結核予防会結核研究所／結核予防会複十字病院）
3. その他の結核関連検査
—QFTとVNTR—
青野 昭男（結核予防会結核研究所抗酸菌レファレンス部細菌検査科）
4. 細菌学的迅速診断法
樋口 武史（京都大学医学部附属病院 検査部）

シンポジウム5

日韓ジョイントシンポジウム

1月22日（日）9:30～11:30

第2会場（301+302）

座長：Sunjoo Kim（Department of Laboratory Medicine, Gyeongsang National University School of Medicine）

柳原 克紀（長崎大学病院検査部）

1. Aminoglycoside resistance in *Pseudomonas aeruginosa*
Jayoung Kim（Department of Laboratory Medicine, The Catholic University of Korea, College of Medicine, Korea）
2. Molecular Characterization of *Acinetobacter calcoaceticus-baumannii* Complex isolates obtained in Dae-jeon, Korea
Sun-Hoe Koo（Department of Laboratory Medicine, Chungnam National University School of Medicine, Daejeon, Korea）
3. MDRP：日本における多剤耐性緑膿菌とその性状
小林 寅喆（東邦大学医学部看護学科／看護学部・感染制御学）
4. わが国における Extend-spectrum β -lactamase（ESBL）産生菌
—現状と課題—
森永 芳智（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科展開医療科学講座病態解析・診断学分野（検査部））

シンポジウム6

検査室に求められる耐性菌検査

1月22日（日）13:00～15:00

第1会場（メインホール）

座長：石井 良和（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

小松 方（公益財団法人天理よろづ相談所 天理医療大学設立準備室）

1. 耐性菌検査が必要とされる局面
山根 一和（川崎医科大学 公衆衛生学）
2. 検査対象となる耐性菌
小松 方（公益財団法人天理よろづ相談所 天理医療大学設立準備室）
3. 耐性菌検査の基本と応用
中村 竜也（関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部・感染症管理部）
4. 耐性菌検査に対するブレイクポイントの意味と落とし穴
大曲 貴夫（国立国際医療研究センター 国際疾病センター／感染症内科）

ベーシックレクチャー

学会員の中堅どころの先生方をお願いした新しい企画です。それぞれの領域の現状とトピックスを、初学者に理解できるようにお話させていただきます。

1. 厚生労働省院内感染対策サーベイランス（JANIS）・検査部門データを読む
1月21日（土）15:00～15:30
第4会場（303）
演者：鈴木 里和（国立感染症研究所 細菌第二部）
座長：黒川 幸徳（川崎医科大学附属病院 中央検査部）
2. 迅速診断としてのグラム染色の有用性とその限界
1月21日（土）15:30～16:00
第4会場（303）
演者：永田 邦昭（公立玉名中央病院 中央検査部）
座長：米山 彰子（虎の門病院 中央検査部，臨床感染症科）
3. 血液培養のグラム染色結果を有効に活用するには
1月21日（土）16:00～16:30
第4会場（303）
演者：上原 由紀（順天堂大学大学院医学研究科 感染制御科学／総合診療科）
座長：郡 美夫（江東微生物研究所）

プログラム [講演]

4. 運が良ければ遭遇する世界の感染症
1月21日（土）16:30～17:00
第4会場（303）
演者：春木 宏介（獨協医科大学越谷病院 臨床検査部）
座長：小栗 豊子（東京医療保健大学大学院／亀田総合病院）

5. *Clostridium difficile* 検査の今日
1月22日（日）9:30～10:00
第3会場（503）
演者：川田 真幹（さいたま市立病院 感染症科・感染管理室）
座長：加藤 はる（国立感染症研究所 細菌第二部）

6. 微生物検査室と感染管理担当看護師との連携
～微生物検査室と臨床現場との橋渡しと距離の縮め役として～
1月22日（日）10:00～10:30
第3会場（503）
演者：加納江利子（東京都健康長寿医療センター 看護部感染管理担当師長
（感染管理認定看護師））
座長：佐藤 智明（山形大学医学部附属病院 検査部）

7. 検査に生かすインフルエンザ update
1月22日（日）10:30～11:00
第3会場（503）
演者：畠山 修司（東京大学医学部附属病院 感染症内科）
座長：菱沼 昭（獨協医科大学 感染制御・臨床検査医学）

8. 肺炎の新しいとらえ方
—医療・介護関連肺炎（NHCAP）ガイドラインを中心に—
1月22日（日）11:00～11:30
第3会場（503）
演者：今村 圭文（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 感染免疫学講座
（第二内科））
座長：中森 祥隆（国家公務員共済組合連合会 三宿病院 呼吸器科）

9. 院内連携で治療する感染性心内膜炎
1月22日（日）13:00～13:30
第3会場（503）
演者：平井 由兎（東京女子医科大学病院 感染症科 准講師・血液内科）
座長：小林 芳夫（慶應義塾大学医学部 臨床検査医学）

プログラム [講演]

10. 血液透析患者における感染症の特徴と対策

1月22日（日）13:30～14:00

第3会場（503）

演者：矢内 充（日本大学医学部内科学系総合内科学分野）

座長：相原 雅典（(株)ファルコバイオシステムズ 東京研究所）

11. HIV検査の今日

1月22日（日）14:00～14:30

第3会場（503）

演者：潟永 博之（国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター）

座長：増田 義重（東京都健康長寿医療センター 感染症内科）

12. 日和見感染の制御のための戦略

1月22日（日）14:30～15:00

第3会場（503）

演者：高倉 俊二（京都大学医学部附属病院 感染制御部）

座長：永沢 善三（佐賀大学医学部附属病院 検査部）

編集・ホームページ委員会企画

論文の書き方講習会

1月22日（日）13:45～14:45

第2会場（301+302）

司会：松本 哲哉（東京医科大学微生物学講座・東京医科大学病院感染制御部）

1. 論文執筆のエッセンス

大楠 清文（岐阜大学大学院医学系研究科 病原体制御学分野）

2. 査読者はここをチェックしている

高橋 孝（北里大学大学院感染制御科学府 感染症学研究室）

プログラム [講演]

サテライトセミナー

急速な高齢化社会の到来と国際化に伴い変貌する市中型重症感染症：

—肺炎球菌と β 溶血性レンサ球菌—

厚生労働科学研究「新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業
(H22-新興-一般-013)」共同開催

1月21日（土）14:45～17:15

第2会場（301+302）

座長：生方 公子（北里大学北里生命科学研究所 病原微生物分子疫学研究室）

高橋 孝（北里大学大学院感染制御科学府 感染症学研究室）

1. 侵襲性肺炎球菌感染症の実態と分離株の分子疫学
千葉菜穂子（北里大学北里生命科学研究所 病原微生物分子疫学研究室）
2. 肺炎球菌の莢膜型および薬剤耐性型と multilocus sequence typing (MLST) との関連
荘司 路（国立がん研究センター中央病院 病理科・臨床検査科）
3. 肺炎球菌性重症感染症に対する抗菌薬選択の実際
坂田 宏（旭川厚生病院 小児科）
4. ゲノム解析に基づく溶血性レンサ球菌の病原性—SDSEを中心に—
村山 琮明（日本大学薬学部 分子細胞生物学研究室）
5. B群溶血性レンサ球菌（GBS）感染症：発症例の背景と菌の疫学的特徴
砂押 克彦（埼玉衛生研究所 臨床微生物担当）
6. A群溶血性レンサ球菌（GAS）およびG, C群溶血性レンサ球菌（SDSE）感染症：一発症例の背景と菌の疫学的特徴—
杉田香代子（慶應義塾大学病院 感染制御センター）
7. 肺炎球菌ならびに *Streptococcus dysgalactiae* subsp. *equisimilis* (SDSE) による重症感染症の自験例
田島 剛（博慈会記念総合病院 小児科）

プログラム [講演]

第8回認定臨床微生物検査技師・第9回ICMT合同講習会

1月22日(日) 15:15~17:15

第2会場(301+302)

総合進行:長沢 光章(東北大学病院 診療技術部)

挨拶:戸塚 恭一(認定臨床微生物検査技師制度協議会会長, 日臨微理事長)

1. 2011年感染症・検査トピックスと日常検査に求められるスキル

司会:熊坂 一成(認定臨床微生物検査技師制度審議会会長, AMG上尾中央総合病院 臨床検査科)

演者:三澤 成毅(順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部)

2. 微生物検査におけるバイオセーフティ

司会:岩田 敏(日臨微ICMT・院内感染対策委員会委員長, 慶應義塾大学医学部感染制御センター)

演者:豊川 真弘(大阪大学医学部附属病院 臨床検査部)

総合討論(認定臨床微生物検査技師・ICMTに関するQ&A)

ICD講習会

検査室の視点から考える感染対策

1月22日(日) 15:45~17:15

第1会場(メインホール)

座長:満田 年宏(公立大学法人横浜市立大学附属病院感染制御部)

演者:堀 賢(順天堂大学大学院感染制御科学)

吉田 敦(獨協医科大学病院 感染制御センター, 感染制御・臨床検査医学講座)

岡崎 充宏(東京大学医学部附属病院感染制御部)

プログラム [常設展示]

常設展示1. ワークショップ

感染症シアター 基礎から学ぶ臨床微生物

1月21日(土)・1月22日(日)

(312・313・314)

モデレーター：西山 宏幸(駿河台日本大学病院 臨床検査部)

実務委員：三澤 成毅(順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部)

岡崎 充宏(東京大学医学部附属病院 感染制御部 細菌検査室)

小野 由可(社会福祉法人 三井記念病院 検査部)

小野 恵美(武蔵野赤十字病院 臨床検査部)

中村 文子(順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部)

村上日奈子(東邦大学医療センター大森病院 臨床検査部)

下口 和雄(日本大学医学部附属板橋病院 臨床検査部)

柏谷 淳(がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査科)

田中 孝志(帝京大学医学部附属病院 中央検査部)

常設展示2. パネルディスカッション

ポスター展示 臨床検査室のバイオセーフティ

1月21日(土)・1月22日(日)

討論日時：1月22日(日) 10:00~11:00 (313)

モデレーター：後藤美江子(東京大学医学部微生物学講座)

木ノ本雅通(バイオメディカルサイエンス研究会)

実務委員：渋谷 俊介(三菱化学メディエンス株式会社)

佐々木照美(江東微生物研究所)

雨澤 貴子(保健科学研究所)

伊藤 俊一(東ソー株式会社)

須崎有起子(シスメックス株式会社)

田中 孝志(帝京大学医学部附属病院 中央検査部)

柏谷 淳(がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査部)

高橋 孝(北里大学)

大久保孝雄(日立アプライアンス株式会社)

〔企業共催セミナー 第1日目 1月21日(土)〕

ランチョンセミナー1

微生物検査におけるMALDI-TOF MSの可能性

1月21日(土) 12:15~13:15

第2会場(301+302)

演者: 菊池 賢(順天堂大学医学部 感染制御科学/細菌学/総合診療科学)

座長: 大塚 喜人(亀田総合病院 臨床検査部)

共催: シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

ランチョンセミナー2

非結核性抗酸菌症—感染症とアレルギーのクロストーク

1月21日(土) 12:15~13:15

第3会場(503)

演者: 菊地 利明(東北大学病院 呼吸器内科)

座長: 浅利 誠志(大阪大学病院 感染制御部)

共催: ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

ランチョンセミナー3

抗MRSA薬の現状

1月21日(土) 12:15~13:15

第4会場(303)

演者: 花木 秀明(北里大学 抗感染症薬研究センター)

座長: 飯沼 由嗣(金沢医科大学 臨床感染症学)

共催: ファイザー株式会社

ランチョンセミナー4

次世代の微生物同定法であるMALDI-TOF MSの導入が臨床にもたらすインパクト

1月21日(土) 12:15~13:15

第5会場(304)

演者: 三嶋 廣繁(愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学)

座長: 草野 展周(岡山大学病院感染症内科)

共催: 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

ランチョンセミナー5

*Clostridium difficile*感染症の細菌学的検査法と結果の解釈

1月21日(土) 12:15~13:15

第6会場(411+412)

演者: 加藤 はる(国立感染症研究所 細菌第二部)

座長: 渡邊 邦友(岐阜大学生命科学総合研究支援センター
嫌気性菌研究分野)

共催: アリーアメディカル株式会社

〔企業共催セミナー 第1日目 1月21日 (土)〕

イブニングセミナー1

感受性検査の正しい利用法～MICと判定基準の意義～

1月21日 (土) 17:30～18:30

第2会場 (301+302)

演者：菅野 治重 (医療法人社団 徳風会 高根病院)

座長：荒川 宜親 (名古屋大学)

共催：塩野義製薬株式会社

イブニングセミナー2

antibiogramに基づいた抗菌薬処方適正化 (微生物検査室を活かすには)

1月21日 (土) 17:30～18:30

第3会場 (503)

演者：堀 賢 (順天堂大学)

座長：賀来 満夫 (東北大学)

共催：大正富山医薬品株式会社

イブニングセミナー3

深在性真菌症の診断に有用な培養検査と薬剤感受性測定

1月21日 (土) 17:30～18:30

第4会場 (303)

演者：川上小夜子 (帝京大学医学部附属病院感染制御部)

座長：前崎 繁文 (埼玉医科大学感染症科・感染制御科)

共催：大日本住友製薬株式会社

イブニングセミナー4

臨床微生物検査における抗菌化学療法支援

～耐性機序解析の重要性とPK-PD理論への対応～

1月21日 (土) 17:30～18:30

第5会場 (304)

演者：中村 竜也 (関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部・感染症管理部)

座長：満田 年宏 (横浜市立大学附属病院 感染制御部)

共催：日水製薬株式会社

イブニングセミナー5

Luminex社製胃腸病原体検出キット (xTAG Gastrointestinal Pathogen Panel)

を使用した網羅的スクリーニング法とO104:H4の検出

1月21日 (土) 17:30～18:30

第6会場 (411+412)

演者：Monika Malecki (Dipl.-Biologe Kliniken der Stadt Köln gGmbH,
Krankenhaus Merheim)

座長：江崎 孝行 (岐阜大学大学院 医学系研究科 病原体制御学分野)

共催：ルミネックス・ジャパン株式会社

〔企業共催セミナー 第2日目 1月22日(日)〕

モーニングセミナー1

耐性菌事情, 日本と世界の類似点と相違点

1月22日(日) 7:30~8:20

第3会場 (503)

演者: 石井 良和 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座)

座長: 吉田 正樹 (東京慈恵会医科大学感染制御科)

共催: 第一三共株式会社

モーニングセミナー2

ロタウイルス感染症と感染制御

1月22日(日) 7:30~8:20

第4会場 (303)

演者: 山岸 由佳 (愛知医科大学大学院医学研究科 感染制御学)

座長: 三嶋 廣繁 (愛知医科大学)

共催: グラクソ・スミスクライン株式会社/第一三共株式会社

モーニングセミナー3

臨床微生物学領域におけるパイロシーケンス法の利用・ユーザーの立場から

1月22日(日) 7:30~8:20

第5会場 (304)

演者: 嵯峨 知生 (東邦大学医学部 微生物・感染症学)

座長: 賀来 満夫 (東北大学)

共催: 株式会社キアゲン

ランチョンセミナー6

MRSAの最近の傾向と診療のUp to data

1月22日(日) 11:45~12:45

第2会場 (301+302)

演者: 松本 哲哉 (東京医科大学 微生物学講座)

座長: 渡辺 彰 (東北大学 加齢医学研究所 抗感染症薬開発研究部門)

共催: MSD株式会社

ランチョンセミナー7

臨床分野におけるMALDI-T of Ms技術の微生物同定検査への応用

1月22日(日) 11:45~12:45

第3会場 (503)

演者: 山下 知成 (三菱化学メディエンス株式会社 感染症検査部
臨床微生物グループ)

座長: 江崎 孝行 (岐阜大学大学院 医学系研究科 病原体制御学分野)

共催: シスメックス・バイオメリュー株式会社

[企業共催セミナー 第2日目 1月22日(日)]

ランチョンセミナー8

新しい結核菌検査，診断法の限界を知ろう！

1月22日(日) 11:45~12:45

第4会場 (303)

演者：松本 智成 (大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 臨床研究部/感染症センター)

座長：一山 智 (京都大学大学院 医学研究科 臨床病態検査学)

共催：東ソー株式会社

ランチョンセミナー9

マクロライド系薬耐性 *Mycoplasma pneumoniae* の大流行

—その臨床像と培養の必要性—

1月22日(日) 11:45~12:45

第5会場 (304)

座長：後藤 直正 (京都薬科大学 微生物・感染制御学分野)

演者：小児肺炎例にみられる病態の違いと治療抗菌薬の変化

—耐性菌と感性菌による発症例の比較—

岡田 隆文 (独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 小児科)

マクロライド系薬耐性 *M. pneumoniae* を効率よく分離するには？

諸角美由紀 (北里大学北里生命科学研究所

病原微生物分子疫学研究室)

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

ランチョンセミナー10

ディフィシル菌感染症の病態，診断および治療

—新型ディフィシル菌のアウトブレイクを含めて—

1月22日(日) 11:45~12:45

第6会場 (411+412)

演者：神谷 茂 (杏林大学医学部感染症学)

座長：岩田 敏 (慶應義塾大学医学部 感染制御センター)

共催：ミヤリサン製薬株式会社